

人権に関する作文 (若槻小学校) 発表



コミわかでは人権教育・啓発活動として毎年住民集会を開催し、小中学校の児童・生徒さんに人権に関する作文を発表していただいておりますが、昨年同様に本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため住民集会の規模を縮小しました。生徒さんの作文とポスターは広報紙による発表とさせていただきます。この機会にぜひ人権について考えてみませんか？
(人権教育部会)

「1年1組と交流会」

6年1組 所 遥陽

私達6年1組は、1年1組と交流会をしました。私は交流会の前に「ペアの子のことをもっと知って仲を深めよう。」というめあてをもちました。

交流会では積極的に話しかけて、めあてを達成できるようにがんばりました。遊んだ中で一番楽しかったのが、「通り抜け鬼ごっこ」です。2人で手をつないで、鬼につかまらないように一生懸命がんばりました。ペアの子と相談したり、心を通わせたりして、最後まで残ることができました。

交流会でペアの子のことを最初よりもいろんなことを知って、仲も深めることができました。遊んでいるときに、とても楽しそうな笑顔を見せてくれたのでうれしかったです。ペアの子とは仲良くなれたので、他の1年1組の子とも仲良くなりたいです。

「なかよし」

6年 浅野 すみれ

みなさんは、「なかよし」という言葉にどのようなイメージを抱きますか？私は、「なかよし」について考えるとあったかい気持ちになります。そんな気持ちを全校の皆さんにも感じてほしくて、なかよし委員会では、「なかよし集会」を企画しました。ペアの学年の人とジャンケン列車をして、もっと仲よくなろうというものです。ふだんはいっしょに遊ばない人ともいっしょに遊んで、笑顔がたくさん見れました。1年生は6年生と遊んでとってもうれしそうでした。6年生は、1年生にゆずってあげながら、自分たちもとても楽しそうでした。そんな姿を見て、歳や性別に関係なく、なかよしの輪を自分たちからつくっていつているように感じました。これからも、全校で「なかよし」を築き上げていきたいです。そしてずっと大切にしていきたいです。



園児とサツマイモ掘り

コミわかグリーン倶楽部(KGC)は、皐月かがやきこども園の園児との交流事業として、サツマイモの植え付け、収穫体験会を春と秋に行っており13年目になります。今年も長野養護学校の南側の畑で、園児たちと春に植え付けた芋の収穫を会員15名とJA吉田の職員も加わり実施しました。

参加した園児たちは約80名。幸い好天に恵まれ、到着すると可愛いあいさつを交わし、直ぐに畑に散って長い芋のツルを引張ったりの大はしゃぎ。会員がスコップでイモの根元を緩めてやると、我先に土の中に手をつっ込んで掘り出しては歓声を上げていました。「おじいさん、おじいさん」とあちこちから声をかけられ、「ここ掘って、掘って」と大人気。思わずほほが緩みます。

収穫したサツマイモを大喜びでリュックサックに詰めて帰路につく姿に、栽培の苦労も吹き飛ばす時間でした。

毎年12月に園から焼き芋大会の招待が届き、代表者が何人か参加しています。(コミわかグリーン倶楽部)

